

昔の人の袖の香ぞする - 匂い・記憶・創造

なつかしい匂いがなつかしい記憶を呼び覚ます。忘れていた思い出が鮮明によみがえる。

私たちは、なつかしい匂いとアートを組み合わせることによる高齢者の生活の質の向上を目指して、2016年より3年にわたって心理学・高齢者看護学、美学芸術学の分野の共同研究を続けてきました。またフランス、イギリス、スウェーデンの研究者やアーティストとも国際的研究活動を展開しました。これらの研究成果を、広く多くの方々に報告する会を行います。同時に招待講演も行い、様々な視点からの研究のまとめと、将来に向けた展望を拓いていきます。

研究者、関係分野の皆様、ご興味をお持ちの一般市民の方々に広くご聴講いただければ幸いです。

2019年3月23日（土）13：00～17：00

香老舗 松栄堂 薫習館 5階 KARANI HALL

〒604-0857 京都市中京区烏丸通二条上ル東側

一般来聴無料（先着100名様）

【香りのアートパフォーマンス】

12：15～12：45 Åsa Herrgård, Carmen Olsson

DARE WE CLOSE OUR EYES?

【研究報告】

13：00～13：30 杉原百合子（同志社女子大学）

《基調講演》 “なつかしい匂い” と創造活動による認知症の人の安心できる居場所作りとその効果検証

13：30～13：50 岩崎陽子（嵯峨美術短期大学）

アートと匂いの可能性—京都・フランス・スウェーデンにおける匂いのアート展覧会

13：50～14：10 Nathan COHEN(Central Saint Martins, University of the Arts London), Reiko Kubota

匂いのアート作品紹介① Creating Olfactory Narratives as Natsukashii Experiences

14：10～14：30 松本泰章（嵯峨美術大学）

匂いのアート作品紹介② Box of Eurydice

14：30～14：50 山本晃輔（大阪産業大学）・小林剛史（文京大学）・小早川達（産業技術総合研究所）

ノスタルジー感情を喚起させる匂いに関する心理学的調査

14：50～15：10 真板昭夫（嵯峨美術大学）

懐かしい匂いとそこから語られる情景の世界

15：10～15：30 研究報告全体に関する質疑応答

15：30～15：40 休憩

【招待講演】

15：40～16：20 高橋悟（京都市立芸術大学）

感覚のアーキベラゴ：（脱）健常の芸術とその記録

16：20～17：00 中川晶（京都看護大学）

自分物語をどう引き出すか～ナラティブ・アプローチの方法～

主催：昔の人の袖の香ぞする実行委員会（事務局嵯峨美術短期大学 代表・岩崎陽子 yo-iwasaki@kyoto-saga.ac.jp）

助成：JSPS 科研費 25560018、スカンジナビア・ニッポンササカワ財団

後援：香老舗 松栄堂、黎明株式会社、京都新聞、産経新聞社京都総局、読売新聞社

※同時期に「わたしのマドレーヌ」展を、同じ香老舗 松栄堂 薫習館 1階松吟ロビーにて開催しています。

2017年夏から京都、パリ、スウェーデンを巡回してきた、各国のアーティストたちによるなつかしい匂いのアート作品が一堂に会します。

研究と創造活動の相互成果である、当展覧会もあわせてお楽しみください。

わたしのマドレーヌ展—なつかしい匂いと記憶のアート国際展覧会

2019年3月21日（木）～3月24日（日）10：00～17：00

香老舗 松栄堂 薫習館 1階 松吟ロビー 入場無料